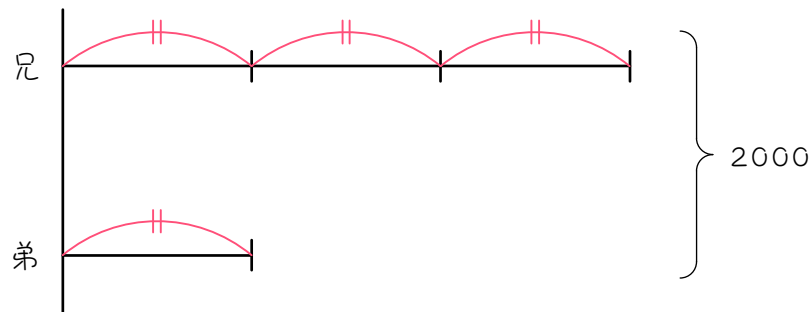



ステップ1 ~倍

1 2000円のおこづかいを兄と弟に分けるのに、兄が弟の3倍になるように分けてみました。



(1)  を1山分ひとやまぶんと呼ぶことにすると、2000円は、

() + () = () 山分にあたります。

(2) (1)より、1山分は、

() ÷ () = () 円となり、これが弟の金額になります。

(3) (2)より、兄の金額は、

() × () = () 円、
または、

() - () = () 円、となります。

2

45個のりんごを、A君とB君で分けました。A君がもらった数は、B君がもらった数の4倍でした。A君とB君はそれぞれ何個ずつりんごをもらいましたか。

3

4200 円を、A 君、B 君、C 君の 3 人で分けます。A 君は C 君の 3 倍、B 君は C 君の 2 倍になるようにしました。3 人はそれぞれ何円ずつもらいましたか。

4

大、中、小の3つの数があります。3つの数の和は40で、中は小の3倍、大は小の4倍です。このとき、大、中、小の3つの数をそれぞれ求めなさい。

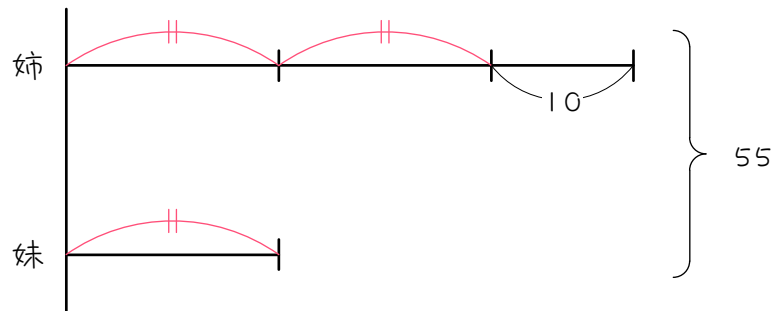
5

2800 円のお金を、太郎、次郎、三郎の 3 人で分けました。太郎は次郎の 2 倍、次郎は三郎の 3 倍になるようにしました。3 人はそれぞれ何円ずつもらいましたか。

ステップ2 ~倍より~多い

6

55個のおはじきを、姉が妹の2倍よりも10個多くなるように分けました。



(1) 図より、 $2 + 1 = 3$ (山分)の大きさが分かります。3山分は、

$$(\quad) - (\quad) = (\quad) \text{ 個です。}$$

(2) (1)より、1山分は、

$$(\quad) \div (\quad) = (\quad) \text{ 個となり、これが妹の個数に}$$

なります。

(3) (2)より、姉の個数は、

$$(\quad) \times (\quad) + (\quad) = (\quad) \text{ 個、}$$

または、

$$(\quad) - (\quad) = (\quad) \text{ 個となります。}$$

7

大、小2つの数があり、その和は36です。また、大は小の3倍よりも8だけ大きくなっています。大、小2つの数はそれぞれいくつですか。

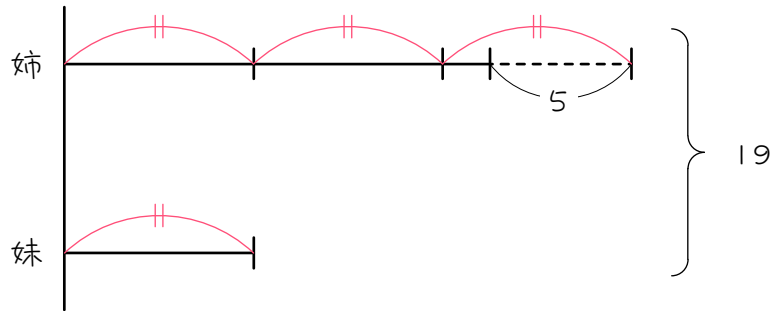
8

4500 円を A、B、C の 3 人で分けました。A が C の 4 倍、B が C の 2 倍より 300 円多くなるように分けました。このとき、A、B、C 3 人の分け前はそれぞれ何円ですか。

ステップ3 ~倍より~少ない

9

19個のみかんを、姉と妹の2人で分けました。姉は妹の3倍よりも5個少なくなるようにしました。



(1) 図より、 $3 + 1 = 4$ (山分)の大きさが分かります。4山分は、

$$(\quad) + (\quad) = (\quad) \text{ 個です。}$$

(2) (1)より、1山分は、

$$(\quad) \div (\quad) = (\quad) \text{ 個となり、これが妹の個数に}$$

なります。

(3) (2)より、姉の個数は、

$$(\quad) \times (\quad) - (\quad) = (\quad) \text{ 個、}$$

または、

$$(\quad) - (\quad) = (\quad) \text{ 個となります。}$$

10

A君とB君の持っているお金を合わせると3200円になります。A君の持っているお金がB君の持っているお金の4倍より300円少ないとき、A君は何円持っていますか。

ステップ4 2人の差

11

いくつかのみかんを、兄と弟で分けました。兄がもらった個数は弟がもらった個数の3倍で、2人のもらった個数の差は12個です。2人はそれぞれ何個ずつもらいましたか。

12

兄と弟がある金額のお金を分けました。2人の分け前の差は950円で、兄は弟の3倍より150円多くもらいました。兄と弟の分け前はそれぞれ何円ですか。

13

母からもらったおこづかいを、姉と妹の2人で分けました。2人のもらった金額の差は1450円で、姉は妹の4倍より200円少なくもらいました。姉は何円もらいましたか。

ステップ5 3つの数①

14

2250円をA、B、Cの3人で分けるのに、AはBの2倍よりも50円多く、CはBの3倍よりも100円多くなるようにしました。A、B、Cはそれぞれ何円ずつもらいましたか。

15

10000 円を A、B、C の 3 人で分けるのに、B は A の 3 倍よりも 300 円少なく、C は A の 4 倍よりも 100 円少なくなるようにしました。

A、B、C はそれぞれ何円ずつもらいましたか。

16

100個のおはじきを、A、B、Cの3人で分けたところ、AはBの2倍より12個多く、CはBの3倍よりも2個少なくなりました。A、B、Cはそれぞれ何個ずつもらいましたか。

17

太郎、次郎、三郎の3人がお金を出しあって、1350円のおもちゃを買うことにしました。太郎は三郎の4倍よりも100円少なく、次郎は三郎の2倍よりも50円多くお金を出しました。このとき、太郎は何円お金を出しましたか。

18

65 個のあめを、A 君、B 君、C 君の 3 人で分けることにしました。B 君は A 君の半分より 7 個多く、C 君は A 君の 2 倍よりも 5 個少なくなるようにします。このとき、C 君は何個もらえることになりますか。

19

A君、B君、C君が100個のあめを分けました。A君はB君の3倍よりも10個多くもらい、C君はA君よりも4個少なくもらいました。C君のもらったあめは何個ですか。

ステップ7 3つの数③ - AがBとCの和の~倍

20

A君、B君、C君の3人の所持金の合計は3000円で、アA君の所持金はB君とC君の所持金の和の2倍で、B君の所持金はC君の所持金よりも400円多いといえます。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) Aの所持金は何円ですか。下線部アを線分図に表して考えなさい。



- (2) B君とC君の所持金をそれぞれ求めなさい。

21

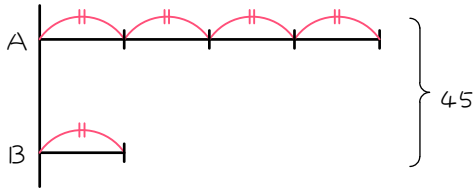
A、B、C 3つの数の和は76で、AはBよりも7大きく、CはAとBの和の3倍です。A、B、C 3つの数をそれぞれ求めなさい。

■ 解答 ■

- 1 (1) 3、1、4
(2) 2000、4、500
(3) 500、3、1500、
2000、500、1500
- 2 A君：36個 B君：9個
- 3 A君：2100円 B君：1400円
C君：700円
- 4 大：20 中：15 小：5
- 5 太郎：1680円 次郎：840円
三郎：280円
- 6 (1) 55、10、45
(2) 45、3、15
(3) 15、2、10、40、
55、15、40
- 7 大：29 小：7
- 8 A：2400円 B：1500円 C：600円
- 9 (1) 19、5、24
(2) 24、4、6
(3) 6、3、5、13、
19、6、13
- 10 2500円
- 11 兄：18個 弟：6個
- 12 兄：1350円 弟：400円
- 13 2000円
- 14 A：750円 B：350円 C：1150円
- 15 A：1300円 B：3600円
C：5100円
- 16 A：42個 B：15個 C：43個
- 17 700円
- 18 31個
- 19 42個
- 20 (1) 2000円
(2) B君：700円 C君：300円
- 21 A：13 B：6 C：57

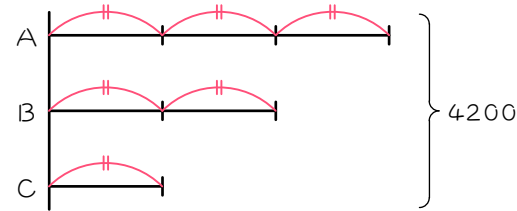
■ 解説 ■

2



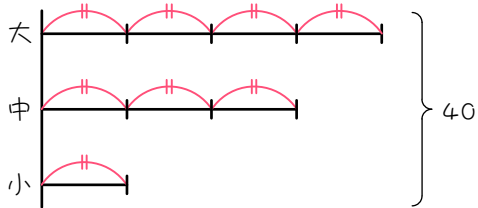
$4 + 1 = 5$ (山分)が 45 個。
 $45 \div 5 = \underline{9}$ (個) \dots B 君
 $9 \times 4 = \underline{36}$ (個) \dots A 君

3



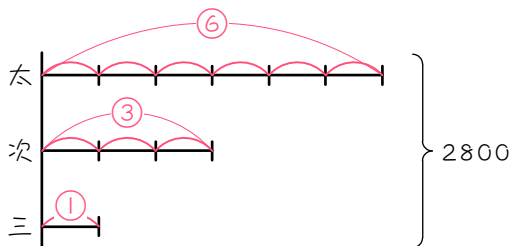
$3 + 2 + 1 = 6$ (山分)が 4200 円。
 $4200 \div 6 = \underline{700}$ (円) \dots C 君
 $700 \times 2 = \underline{1400}$ (円) \dots B 君
 $700 \times 3 = \underline{2100}$ (円) \dots A 君

4



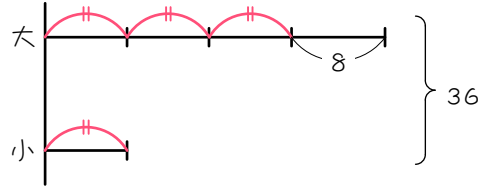
$4 + 3 + 1 = 8$ (山分)が 40。
 $40 \div 8 = \underline{5}$ \dots 小
 $5 \times 3 = \underline{15}$ \dots 中
 $5 \times 4 = \underline{20}$ \dots 大

5



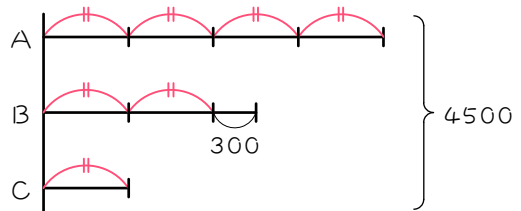
三郎を① (1山分) とすると次郎は③、
 太郎は、③ \times 2 = ⑥になる。
 ⑥ + ③ + ① = ⑩が 2800 にあたる。

7



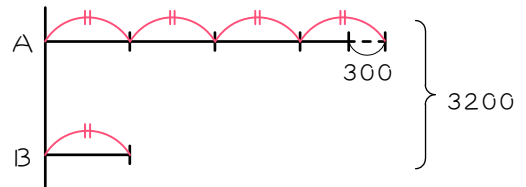
$36 - 8 = 28$
 $3 + 1 = 4$ (山分)が 28。
 $28 \div 4 = \underline{7}$ \dots 小
 $7 \times 3 + 8 = \underline{29}$ \dots 大

8



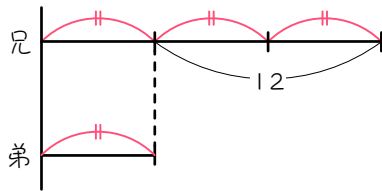
$4500 - 300 = 4200$ (円)
 $4 + 2 + 1 = 7$ (山分)が 4200 円。
 $4200 \div 7 = \underline{600}$ (円) \dots C
 $600 \times 2 + 300 = \underline{1500}$ (円) \dots B
 $600 \times 4 = \underline{2400}$ (円) \dots A

10



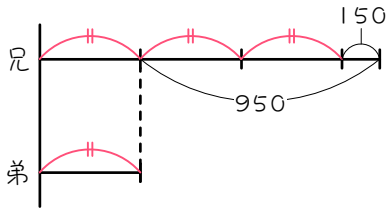
$3200 + 300 = 3500$ (円)
 $4 + 1 = 5$ (山分)が 3500 円。
 $3500 \div 5 = 700$ (円) \dots B
 $700 \times 4 - 300 = \underline{2500}$ (円) \dots A
 または、 $3200 - 700 = \underline{2500}$ (円) \dots A

11



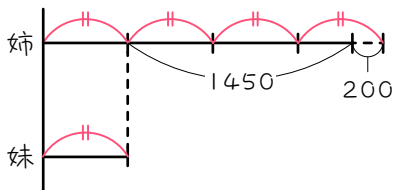
$3 - 1 = 2$ (山分)が 12。
 $12 \div 2 = \underline{6}$ (個) \dots 弟
 $6 \times 3 = \underline{18}$ (個) \dots 兄

12



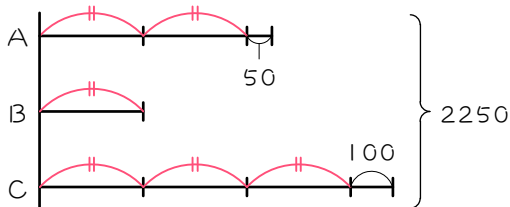
$950 - 150 = 800$ (円)
 $3 - 1 = 2$ (山分)が 800 円。
 $800 \div 2 = \underline{400}$ (円) \dots 弟
 $400 \times 3 + 150 = \underline{1350}$ (円) \dots 兄

13



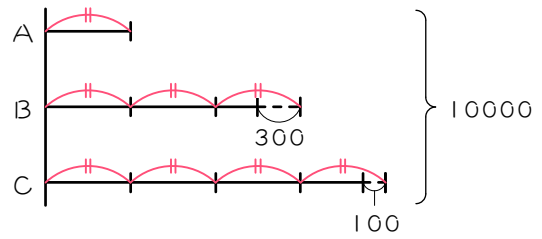
$1450 + 200 = 1650$ (円)
 $4 - 1 = 3$ (山分)が 1650 円。
 $1650 \div 3 = 550$ (円) \dots 妹
 $550 \times 4 - 200 = \underline{2000}$ (円) \dots 姉

14



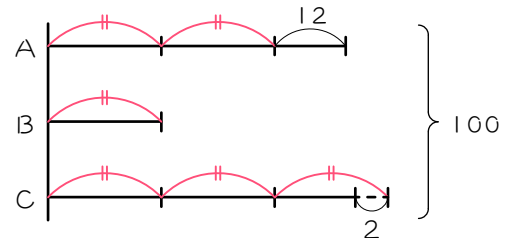
$2250 - (50 + 100) = 2100$ (円)
 $2 + 1 + 3 = 6$ (山分)が 2100 円。
 $2100 \div 6 = \underline{350}$ (円) \dots B
 $350 \times 2 + 50 = \underline{750}$ (円) \dots A
 $350 \times 3 + 100 = \underline{1150}$ (円) \dots C

15



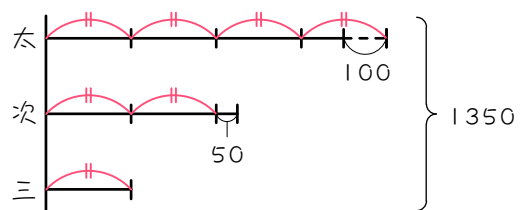
$10000 + 300 + 100 = 10400$ (円)
 $1 + 3 + 4 = 8$ (山分)が 10400 円。
 $10400 \div 8 = \underline{1300}$ (円) \dots A
 $1300 \times 3 - 300 = \underline{3600}$ (円) \dots B
 $1300 \times 4 - 100 = \underline{5100}$ (円) \dots C

16



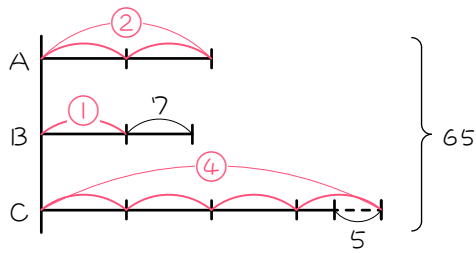
$100 - 12 + 2 = 90$ (個)
 $2 + 1 + 3 = 6$ (山分)が 90 個。
 $90 \div 6 = \underline{15}$ (個) \dots B
 $15 \times 2 + 12 = \underline{42}$ (個) \dots A
 $15 \times 3 - 2 = \underline{43}$ (個) \dots C

17



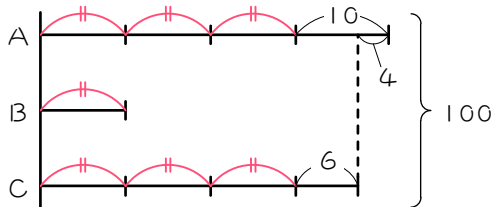
$1350 + 100 - 50 = 1400$ (円)
 $4 + 2 + 1 = 7$ (山分)が 1400 円。
 $1400 \div 7 = 200$ (円) \dots 三郎
 $200 \times 2 + 50 = 450$ (円) \dots 次郎
 $200 \times 4 - 100 = \underline{700}$ (円) \dots 太郎

18



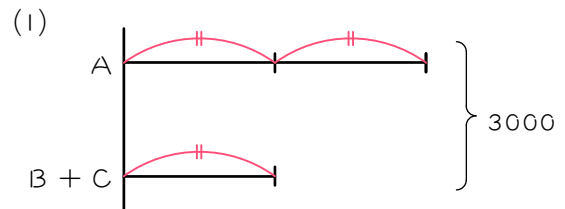
Aを② (2山分) とすると、
 Bは①+7、
 Cは②×2-5=④-5
 $65-7+5=63$ (個)
 $②+①+④=⑦$ が63個にあたる。
 $63 \div 7 = 9$ (個)・・・①
 $9 \times 4 - 5 = \underline{31}$ (個)・・・C

19



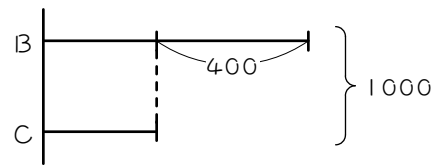
$10 - 4 = 6$ (個)
 $100 - (10 + 6) = 84$ (個)
 $3 + 1 + 3 = 7$ (山分)が84個。
 $84 \div 7 = 12$ (個)・・・B
 $12 \times 3 + 6 = \underline{42}$ (個)・・・C

20



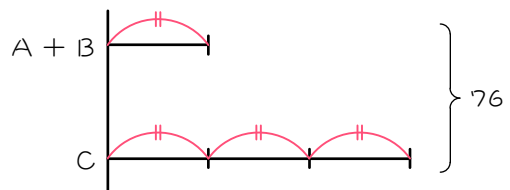
$2 + 1 = 3$ (山分)が3000円。
 $3000 \div 3 = 1000$ (円)・・・B+C
 $1000 \times 2 = \underline{2000}$ (円)・・・A

(2)

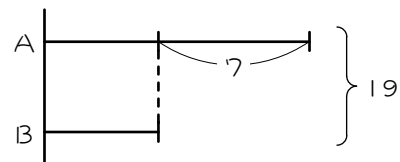


BとCで和差算。
 $1000 - 400 = 600$ (円)
 $600 \div 2 = \underline{300}$ (円)・・・C
 $300 + 400 = \underline{700}$ (円)・・・B

21



AとBを合体させるがポイント。
 $1 + 3 = 4$ (山分)が76。
 $76 \div 4 = 19$ ・・・A+B
 $19 \times 3 = \underline{57}$ ・・・C



AとBで和差算。
 $19 - 7 = 12$
 $12 \div 2 = \underline{6}$ ・・・B
 $6 + 7 = \underline{13}$ ・・・A